

国語

- 現代文・評論：「身ぶりの消失」(鷺田清一)
小問 6 問
漢字、内容説明、内容理解、理由説明、文章表現把握
- 現代文・小説：「海辺暮らし」(加藤幸子)
小問 6 問
語い、心情把握、理由説明、内容理解、表現理解
- 古文：「保元物語」の一節から出題
小問 6 問
語句の解釈、文法、理由説明、内容理解、心情説明
- 漢文：黄潛「金華黄先生文集」
小問 6 問
語句の意味、解釈、書下し・解釈、理由説明、空所補充、主旨説明

現代社会

- 消費者問題：小問 8 問
1989 年のヒット曲から切り出すリード文により、消費者問題を中心として幅広い分野から総合的に出題
- 国際連合：小問 5 問
問 2 では食糧問題に関する現代の動向が取り上げられ、問 1、3、4 では、制度的知識が問われている。問 5 では、「調べ学習」の出題が復活した。
- 地域社会と少子高齢化：小問 8 問
現代社会特有の設問も存在する一方で、問 3 のような政治経済分野の理論的事項も含めて出題された。現代社会特有の、常識で判断できる設問が少なかった。
- 情報通信技術と青年期：小問 5 問
現代社会の課題として典型である青年期とネット社会に関する出題
- 株式会社：小問 5 問
経済分野を軸とした出題。会社法およびそこに定義されている会社運営についての学習について深く問う出題が存在した。
- 地方自治：小問 5 問
地方自治をベースに環境問題などについても触れた出題

センター試験対策

試験日程

1/14	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	地理歴史	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」
	国語	「国語」
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」
1/15	理科	「理科総合 A」「理科総合 B」「物理 I」「化学 I」「生物 I」「地学 I」
	数学①	「数学 I」「数学 I・数学 A」
	数学②	「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」

傾向と対策

センター試験対策 古文

センター試験の古文は満点が取れる。読解力・解釈力のツメを行うことはさることながら、どこに着目すれば「正解」に繋がるかを集中的に指導する。

- 論理的な読解・解法の総整理。
- 言葉・表現の事実から選択肢へのアプローチ法。
- 文学史の要点チェック。
- 単語問題のように見える文脈問題の処理法。
- 要領の良い読み方の整理。

センター試験対策 漢文

センター試験では、漢文が最も満点が取れる科目である。ただし、1 問ごとの配点が高いので、ツメを誤ってはならない。どこに着目すれば「正解」にたどり着けるか、それを集中的に指導する。

- 白文の「訓み問題」はどう処理するか。
- 「返り点問題」はどこに注目するか。
- 論理的な読解から解法への総合練習と総仕上げ。
- 論理の線が見えにくい「漢詩」はどう処理するか。

センター試験対策 現代文

論評：センター試験の出題者は受験生が見落とすポイント、取り違えるパターンを熟知した上で選択肢を並べてきます。出題者との心理戦を制するのは「7つの技術」。敵の手の内を知って全問正解を目指そう！

小説：小説の点数に波がある人は危険。毎回意表を突く問題が出るのがセンター試験の小説です。必要なのは「相性」「フィーリング」ではなく、文章を論理的に分解する「8つの法則」。何が出題されても満点取れる力を！

センター試験対策 現代社会

教科書程度の基本的な内容を除けば、それほど細かい知識は要求されないが、相当広い知識が要求されるのが現代社会です。まず、教科書程度の内容は必ず学習し、確実に押さえておかなければ門前払いされます。基本的な知識が幅広いことに加え、さほど本科目に時間をかけられない受験生が多いため、平均点は 6 割を下回ることもあります。決して極端に難しい問題ばかりではないことも事実です。6 割前後から伸び悩む受験生が、まずは 7 割を確実に越えられる知識を習得する場にします。